

第6章 予讃線（伊予長浜～宇和島）

平成 29 年 8 月 5 日（土）～8 月 10 日（木）の四国沿線の旅（5 泊 6 日）は、台風の影響で当初の予定を一部変更し、次のプランで臨む。すなわち、当初の予定の伊予長浜から宇和島までの予讃線（64.5km）と予定を変更して急遽思いついた窪川から須崎までの土讃線（30.0km）を踏破する。今回の歩きも 8 月 5 日（土）、旅行前にカッシー館で予定を公開した。ほぼ予定通り進み大満足の旅となった。

この結果、予讃線の全線（高松～松山～宇和島：291.3km）が踏破できる。加えて、全国 47 都道府県のうち、高知県が新たに加わり 36 都道府県に足を踏み入れることとなった。残るは、秋田県・山形県・富山県・石川県・鳥取県・島根県・徳島県・大分県・宮崎県・長崎県・沖縄県の 11 県。また、通算営業キロは 9,173km（活動日数 456 日）となる。



第1節 旅プラン

○2017年8月5日(土)

ひかり467号 新横浜10:22 → 岡山14:19

しおかぜ15号 岡山14:35 → 松山17:24

チェックイン松山泊 089-998-7000



○8月6日(日) 予讃線の歩き

松山 6:04 → 伊予長浜 7:18

伊予長浜～伊予出石～伊予白滝～八多喜～春賀～五郎～伊予大洲～西大洲～伊予平野～千丈～八幡浜 (29.7km)

八幡浜 18:26 → 宇和島 19:36

宇和島オリエンタルホテル泊 0895-23-2828



○8月7日（月）

宇和島闘牛場の散策、茨城県立大洗高校マーチングバンド部の演奏会鑑賞

宇和島オリエンタルホテル泊

○8月8日（火） 予讃線の歩き

宇和島 5:33 → 八幡浜 6:03 （宇和海2号）

八幡浜～双岩～伊予石城～上宇和～卯之町～下宇和～立間～伊予吉田～高光

～北宇和島～宇和島（34.8km）

宇和島オリエンタルホテル泊

○8月9日（水） 土讃線の歩き

宇和島 6:04 → 窪川 8:09 : 予土線の観察

窪川～仁井田～六反地～影野～土佐久礼～安和～土佐新荘～須崎（30.0km）

須崎 17:55→ 高知 18:34（あしずり8号）

ホテルNo1.高知泊 088-873-3333



○8月10日（木）

高知城散策

南風16号 高知 13:13 → 丸亀 15:03

丸亀 15:33 → 高松 16:01

※家内と高松前で家内と16時過ぎ待ち合わせ

○8月11日（金）

午前中墓掃除と墓参り後、高野光生と北の商で再会。二次会は蔵人加蔵(087-865-8866)で二次会。高野夫人と家内も参加。

○8月12日（土）

庵治の家内両親の墓参りと大窪寺参拝。

○8月13日

岡山発12時53分（のぞみ24号）で自宅へ。

第2節 一日目：8月5日（土）：移動日 晴れ



※5枚の乗車券（横浜市内→予讃線+予土線+土讃線、多度津→高松）と特急券

平成29年8月5日（土）、5泊6日の概略の予告をカッシー館に投稿し、家内に中央林間駅まで送ってもらう。8時32分の電車で新横浜駅へ。

5泊6日の初日（8月5日）は、“ひかり467号”と“しおかぜ15号”を乗り継いで予讃線の松山駅に向かう。そして、松山駅から市電で大街道界隈にある「チェックイン松山」まで移動し前泊する。大街道の商店街は6月末から毎週土曜日夜店がでるお祭りがあった。本日が本年最後の締めとのことであった。商店街には浴衣姿の若いカップルを多数見かける。同時に数十年前の若き日々を思い出す機会を得る。夜は大街道の”これや”で明日からのエネルギーを蓄える。



列車の窓から（瀬戸内海）



早朝の松山駅



大街道

松山は数年前に明日の始点となる伊予長浜～今治まで踏破の際、道後温泉や松山城にも立ち寄ることができたので、懐かしい街であった。市電の大街道駅に到着する手前で、雀友の矢崎氏から電話が入る。運悪く出られず。



早朝の”これや”と松山城

第3節 二日目：8月6日（日）：伊予長浜～八幡浜 晴れ／夕立

伊予長浜(7:22)～伊予出石(8:07)～伊予白滝(9:03)～八多喜(9:50)～春賀(10:30)～五郎(11:13)1～伊予大洲(12:18)～西大洲(13:26)～伊予平野(14:00)～千丈(17:24)～八幡浜(17:57)

四国沿線の旅の2日目(8月6日)は、早朝起床し、市電通りを歩いて松山駅へ。松山駅からは2両編成の宇和島行に乗り数年前に歩いた始点の伊予長浜駅(7時18分)まで向かう。この駅で上り下り列車の離合があった。列車の窓から数年前に歩いた懐かしい風景が登場する。歩きに苦勞した坊ちゃんスタジアム、駅のホームから美しい瀬戸内海が一望できる下灘駅……。しかし、人間の記憶というものは異加減なものですからどのような駅があったのは忘れてしまっていた。



伊予長浜駅 伊予出石駅



沢蟹

本日の歩きは、伊予長浜から八幡浜までの営業キロ 29.7 k m。伊予長浜駅には 7 時 22 分後にする。伊予長浜駅では青空が広がっていた。台風の影響で天候を気にしながら八幡浜駅を目指して歩く。海外線沿いの歩きから山よりの道に切り替える。住吉神社前を 7 時 30 分通過。その先には耽川が幹線道路に沿って流れていた。沢蟹を歩く途中随所で見つける。本日の最初の駅である伊予出石駅には 8 時 7 分到着。県道 24 号（大洲長浜線）を歩く。8 時 41 分、道路沿いで沢蟹の死骸を発見する。8 時 28 分、白滝公園の看板を目にする。8 時 58 分、小高い山に白滝公園がある。



伊予出石駅

その先を曲がり柴踏切を横切った先に伊予白滝駅（9 時 3 分）があった。200m～300 m位引き返したところにあった。駅には駅長の帽子が展示されていた。今は無人駅だが、かつては駅長がいた駅と推測された。再度柴踏切（9 時 11 分）を横切り八多喜駅を目

指す。9時20分、耽川にボートを見つける。9時23分、ボールペンをロストしそうになる。八多喜四国八十八ヶ所霊場の看板を見つける。ここでも少し行き過ぎていた。路地を繋ぎながら、9時50分八多喜駅に到着。先程通過した八多喜第2踏切(9時55分)横切る。この辺りで小雨模様になる。リュックに雨具をかける。10時21分、春賀一本杉前を通過。10時26分、田辺踏切を横切り鉄道の左側を歩く。春賀駅には10時30分到着。駅前の民家にはサルスベリがあった。10時35分、春賀踏切を横切り鉄道の右側となる。11時13分、幹線道路に沿って五郎駅があった。



八多喜駅、春駅賀、五郎駅

11時20分、万歩計で1057歩ある生々橋(矢落川)を渡る。この先で内子線と合流する。11時38分、螺旋階段を下りる。鉄道の左側となる。大洲市の街並みを歩く。11時53分。マルナカ大洲店があった。12時18分。伊予大洲駅に到着・駅前にはノーベル賞に輝いや中村修二博士の記念碑があった。また、大洲城も見えてくる。



大洲駅 大洲城

ここで、西大洲駅を飛ばし伊予平野駅と勘違いしていたため、道案内を聴いて得た答えに戸惑う。12時55分、道を誤ったお蔭で大洲城を上手くデジカメに収めることができる。13時過ぎ雨が強くなり、日用品の店に駆け込む。この店で、次の踏破駅は、伊予平野駅ではなく西大洲駅であることに気付く。運よく、店の先を渡った先に西大洲駅

があるとのことであった。13時26分、大洲市立久米小学校前を通る。その先に西大洲駅（13時26分）があった。少し手前で上り列車と対面する。

13時30分、柴屋踏切を横切る鉄道の右側となる。そして、13時48分、有松踏切を横切り鉄道の左側となる。近郊の地図で伊予平野駅と千丈駅への道筋を確認する。バイクに乗った警察官にも念のため、千丈駅への道筋を確認する、14時、やっとのことと伊予平野駅に到着。天気が回復した伊予平野駅を過ぎた辺りで大切なサングラスのロストに気がつく。恐らく日用品の店か伊予平野駅界隈でロストしたのであろう。それにしてもものを落とすとものだ……。大雨で集中力が散漫であったのだろう。



西大洲駅

伊予平野駅

14時5分、大洲駅界隈では黒い空から大雨となり、そして一転し晴れ模様となる。一時は伊予平野駅でアップを考えていたが元気になり、当初の予定通り八幡浜駅を目指すことにする。14時27分、地図から判断して山の裾野をぐるぐる回って千丈駅に到達するコースを選択する。トンネルを通り抜ける方法もあったと思うが……。それ故、その辺の確認もあり、巡回中のお巡りさんに確認を取りたかったわけ。ところが、運悪く携帯がなり対応できず。代用として施設前で別の人に問い合わせ「回り路で行ける」との確認を得る。親切にも伊予平野駅前でお廻りさんが追い掛けてきて。「すみません。伊予平野駅と千丈駅への道はわかりましたか」と。それに対し「わかりました」と応対。「気を付けて行って下さい」で別れる。



千丈駅への路

14時27分、地図で確認した分岐点に到達。鉄道下を潜り、鉄道の右側に出る。確認のため、庭先で選択を取り込んでいた主婦の方にこの道を真っ直ぐ進めば千丈駅に行けるか否かを確認する。「行けますけど。遠いですよ。頑張ってください」とのメッセージを頂戴する。ここから約3時間不安また不安な道を進む。14時41分、木々の隙間から鉄道が見える。14時48分、民家と鉄道を確認する。14時51分、1台の車が追い越して行く。この車以外は誰にも道筋で会わず。15時15分、峠と思ひしや峠ではない。



山の中の民家

山の中で2から3の分岐点があり迷うがメインと思う道を進むことにする。不安また不安が続く。15時43分、民家があったので、お尋ねしてこれからの道筋を確認することにする。犬が道筋にいたが、吠えず。沢山の猫がいた。運よくお袋と同じ位の年恰好の老婆がいたので確認する。「夜昼トンネル(2,870m)を通らずにきたのですね。この道でも行けます。この道を真っ直ぐ進めば峠にでます。そして、国道にぶつかります。その先に千丈駅があります」と。この回答は元気を頂く。15時58分やっと峠に到達。16時5分、トンネルを越えると急に視界が広がる。16時11分、民家が多くなる。しかし、ここから国道への道のりが長かった。歩いて歩いて、国道には降りられず。17時2分、JR線が肉眼で捉えられる距離まで下っていた。そして、やっと17時24分、やっと千丈駅に到達する。



高台からの千丈駅界限 千丈駅

長い長い3時間であった。これからは花道を歩いて八幡浜駅には17時57分到着。18時26分の電車で宇和島駅へ。面白いことに、事前に行った切符では、北宇和島から宇和島までが考慮されておらず160円要す。宇和島で大雨となるが、何とか宇和島オリエンタルホテル(516号)に到着する。傘は強風で殆ど機能せず。運よくホテルの1階にローソンがあり、夕食を買い込んで次のような苦労談を思い出しながら祝杯をあげる。本日の営業キロは29.7km(万歩計68,167歩)で予定通り消化できる。なお、明日の午前中はJR運転休止とのことで、久し振りに休養させて頂く。



八幡浜駅への路 八幡浜駅

本日の難所は伊予平野駅から千丈駅までの営業キロ7.1kmの踏破であった。天のご加護を得て、雨がすっかり上がったこともあり、是非この難所をクリアしたいという気持ちになる。トンネルを通らず山裾を歩いたため、3時間強要する。途中、分岐点があり判断に困ったので、民家に駆け込んで助けてもらう場面もあったが。もしかすると伊予平野=千丈間が今回のシリーズで一番の難所であったかも知れない。

第4節 三日目：8月7日（月）：観光 晴れ

5泊6日の三日目（8月7日）は、昨夜からの台風の影響で午前中は列車が動かないという情報を、8月6日19時36分宇和島に到着する際知らされていたので午前中はのんびりする。雨が11時過ぎ上がったので散歩がてらに宇和島駅に向かう。



宇和島駅

しかし、12時発位の始発が調整中という理由で、宇和島城の散策を經由して、再度宇和島駅に戻り、八幡浜まで向かい昨日の続きのウォーキングに挑戦というプランで宇和島駅を後にする。とろろが、台風の影響で宇和島城は終日閉館だった。それで、急遽宇和島闘牛場の視察に切り替える。途中、14時より宇和島市立南予文化会館で「茨城県立大洗高校マーチングバンド部演奏会」の情報（無料）を見つける。宇和島闘牛場の視察後、本日の歩きは中止し、この演奏会を観賞するプランに変更する。

※



宇和島闘牛場



大観音



宇和島城



大洗高校マーチングバンド部



ウォーキングを中止した決断により、宇和島玉手箱を楽しめる。すなわち、宇和島闘牛場の視察、大観音の参拝、大洗高校の吹奏楽団コンサート（89名）、お食事処”ほづみ亭”での夕食、そして蘭学者高野長英の隠れ家への訪問と想定外の素晴らしい時間を過ごせることができる。今日も天や神に感謝する一日となった。



虎の尾（三間町） 京ひな（内子町）



食事処”ほづみ亭”のマスター 高野長英隠れ家邸前

第5節 四日目：8月8日（火）：八幡浜～宇和島 晴れ

八幡浜(6:07)～双岩(7:36)～伊予石城(9:08)～上宇和(10:10)～卯之町(10:43)～
 下宇和(11:40)～立間(14:45)～伊予吉田(15:38)～高光(17:03)
 ～北宇和島(18:21)～宇和島(18:50)

四日目の8月8日（火）は、3時過ぎに起き本日の八幡浜駅から宇和島までを日があるうちに踏破したいと考え、急遽宇和海2号の特急（5時33分発）で八幡浜駅に向か

うことにする。駅構内には沢山の短冊があった。卯之町駅まで台湾のお遍路の方とご一緒させて頂く。一昨日踏破した八幡浜駅には6時3分到着。そして、宇和島駅までの営業キロ 34.8 km に挑戦する。



宇和島駅

昨日はゆっくり休養できたこともあり、当初の各駅（6時14分発）をやめ特急に切り替える。流石特急。八幡浜駅には6時3分到着。本日は8月6日（日）と異なり、身軽な格好。天候にも恵まれる。第1歩の方向だけを間違わないよう細心の注意を払う。6時29分、川に沿って歩く。川には鯉が泳いでいた。6時31分、白鷺をデジカメに収める。6時36分、祭りのポスターを目にする。その先の八幡浜五反田郵便局で分岐点があったので、近くの人に聞いて宇和島への道筋を確認する。



八幡浜駅

6時48分、宇和島バス川舞バス停前を通過。7時18分、線路下を潜り、鉄道の左側となる。7時21分、夫婦岩公園前を通過。7時33分、双岩小学校跡前を通過。7時36分、双岩駅に到着。7時40分、双岩中学校前看板前を通過。7時49分、双岩跨道橋を

通過。8時11分、釜倉トンネル(466m:771歩)前でこのトンネルを通過するか否か20分位右往左往する。



双岩駅

笠置トンネル

取りあえずトンネルを通らないコースを選定するが、300m離れたところに民家があり、訪れてコースの選定をお伺いする。主婦の方が居られ、「どちらのコースも行けませんが、相当の遠回りとなりますよ。トンネルの方がいいですよ」のアドバイスを得て引き返すことにする。トンネルを出ると、飛行機の父二宮忠八翁生誕の地、みかん&魚の町！！八幡浜の看板があった。8時27分、笠置トンネル(1,157m:1,896歩)を通過する。8時50分、急に視界が開ける。8時45分、八幡浜市から西予市となる。方向転換して鉄道に近づこうとしようとした瞬間前方に列車(8時51分)が見える。9時土器ドキ街道を歩く。2頭のマンモスの像が水田の中にあった。9時6分、土器ドキ街道には駅への道筋がないため、岩木第3踏切を横切り伊予石城駅(9時8分:いわき)へ。



マンモスの像

伊予石城駅

各駅停車の列車がやって来ると同時に下り特急列車が通過して行く。9時40分、西予市民病院前を通過。9時46分、54歩の上宇和橋(肱川:ひじかわ)を通過。9時49

分、コーナン、コメリ、タイソー前を通過。ヤマダ電機もあった。もう少しで未踏破になりそうになった上宇和駅（10時10分）に到着。500m位行き過ぎていた。



南宇和駅 卯之町駅

10時13分、宇和島まで22kmの地点（国道56号）に到達。地名は西予市宇和町卯之町であった。10時43分、卯之町駅に到着。10時48分、西予市役所前を通過。山川豊と丘みどりのコンサートのポスターがあった。その先に高知まで10時48分の標識があった。ここから下宇和駅への道筋が地図と異なり苦労する。何人もの人のお世話になり、下宇和駅への道筋を見つける。11時18分、新道義橋を渡る。11時34分、下宇和橋（肱川）を渡り、下宇和駅には11時40分到着。11時58分、道の駅のどんぶり館で昼食とする。



下宇和駅 どんぶり館のしらす丼

美味しいしらす丼であった。そして、ソフトクリームも。この店を12時20分出る。12時31分、11時過ぎに通過した地点に戻る。12時35分、大きなこ線橋である宇和大橋を渡り、鉄道の右側となる。12時58分、国道56号線に合流する。西予市宇和町伊賀上だった。ここから法華津峠越えのためトンネルのオンパレードとなる。

13時6分、1,320mある法華津隧道（1,375歩）を通過。13時24分、西予市から宇和島市となる。初めて高知の地名が登場する。四万十市104km、愛南60kmと。以下、トンネルの通過は次の通り。

トンネル名	到達時間	長さ	万歩計
第五玉津トンネル	13時30分	109m	178歩
第四玉津トンネル	13時33分	117m	192歩
第三玉津トンネル	13時37分	69m	117歩
第二玉津トンネル	13時42分	235m	388歩
第一玉津トンネル	13時48分	137m	232歩
第四白浦トンネル	13時51分	167m	?
第三白浦トンネル	?	98m	164歩
第二白浦トンネル	?	100m	162歩
第一白浦トンネル	14時7分	190m	307歩

14時15分、高知まで215km地点に到達。14時32分、ため池を通過。民家が多くなる。鉄道路線が見えないため、通り過ぎもあるため、この駅の近郊でも駐車場まで訪れて聞くことにした。タイミングが良く、交差点を渡って行った先に駅があととのことであつた。鉄道路線が右手に見えて来て、やっとのことで立間駅に14時45分到着。実にトンネルの数は10個あつた。相当厳しい区間であつた。15時6分立間川を渡る。15時10分、愛犬セブンがお手をしたような山が前方に見える。伊予吉田の街並みを歩く。ここから随分、伊予吉田駅が遠かつた。15時24分、安藤神社を通過。15時26分、44歩ある桜橋を通過。15時35分。界橋を通過。その先にオレンジが印象的な伊予吉田駅（15時38分）あつた。



立間駅 伊予吉田駅

山の裾野にあり。駅の位置が少し変な気もした。15時47分、海岸線に出る。15時56分、瀬戸内海をデジカメに収める。16時6分、高知まで209km地点に到達。その先に知永峠バス停（宇和島バス）があつた。16時10分、左手に鉄道を確認する。16時

36分、高光本村バス停前を通過。16時39分、金陵の看板を目にする。16時55分、高知まで206km地点に到達。17時3分、幹線道路に面して高光駅（17時3分）がある。



高光駅

北宇和島駅（予讃線と土讃線の合流駅）

この駅も通り過ぎている可能性があるので通行人の方のご協力で踏破できた。17時13分、列車と対面する。17時19分、大師前バス停を通過。17時33分、近くを散歩している2歳年上の主婦の方に北宇和島駅を聴く。ところが宇和島駅と勘違いしたらしく、引き返し距離を含め約3kmをご一緒させて頂く。この女性も昨日コンサートに行ったとのこと。かつては愛知県の一宮で集団就職をしたとのこと。3年に一度当時の仲間と懇親を深めているとのこと。その他色々な世間話をする。宇和島駅経由で北宇和島駅まで案内頂く・北宇和島駅は18時21分到着。そして、宇和島闘牛場と環太平洋大学短期大学部（IPU）がある小高い山が駅前から見える宇和島駅には18時50分に到着。予讃線（291.3km）の踏破を記念して記念写真を高校生の方に撮って頂く。本日の営業キロは34.8km、万歩計は77,482歩であった。充実した一日であった。ホテルで祝杯をあげる。



宇和島駅

本日の難所は、大きなアングルから二つあり。一つは、2頭マンモスの像が近くにある伊予石城駅への立ち寄りの際の歩くコースの選択である。すなわち、笠置トンネルを

通り抜けるか否かの判断で15分位右往左往する。最終的には近くの民家に訪れてお伺いしトンネルを通過するコース（近回り）を選択することで問題解決。もう一つは、下宇和駅を立ち寄った際、2km位引き返し、トンネルを10個位通り抜けて立間駅に立ち寄る歩きであった。

また、下宇和駅から引き返す際、丁度12時位になり道の駅”どんぶり館”に立ち寄り、美味しいしらす丼を頂く機会を得たのも印象に残った。最近の歩きでは、歩くときの体調管理への配慮やランチタイム時にグッドタイミングで食堂がないこともあり、ランチを省くことも多々あった。それ故、今回のシリーズ（3日間の歩き）で唯一のランチタイムとなった。

それから、北宇和島の界限で私よりも2歳年上の女性と色々世間話をしながら、宇和島駅から北宇和島まで引き返す場面が生じたのも印象深い。加えて、昨日の大洗高校コンサートに参加とは奇遇また奇遇。昨日の美空ひばりの”愛燦燦”に登場する「人生って不思議なものですね」を思い出した……。しかし、3km位遠回りになったが、”旅は道ずれ世は情け”で楽しい時間を過ごすことができる。

宇和島駅には18時50分到着。高松駅から宇和島駅までの予讃線全長297.6kmを踏破する。平成29年5月7日（日）16時40分博多駅で感激したのと同じような感動の瞬間であった。

<五日目（土讃線歩きの巻）>

土讃線に対応（記載割愛）

<六日目（高知城散策の巻）>

土讃線に対応（記載割愛）

<七日目（四国沿線の旅まとめの巻）>

土讃線に対応（記載割愛）